



# 地域医療連携課が 移転しました！

総合受付向かって左  
「かかりつけ医案内窓口」  
の後ろ

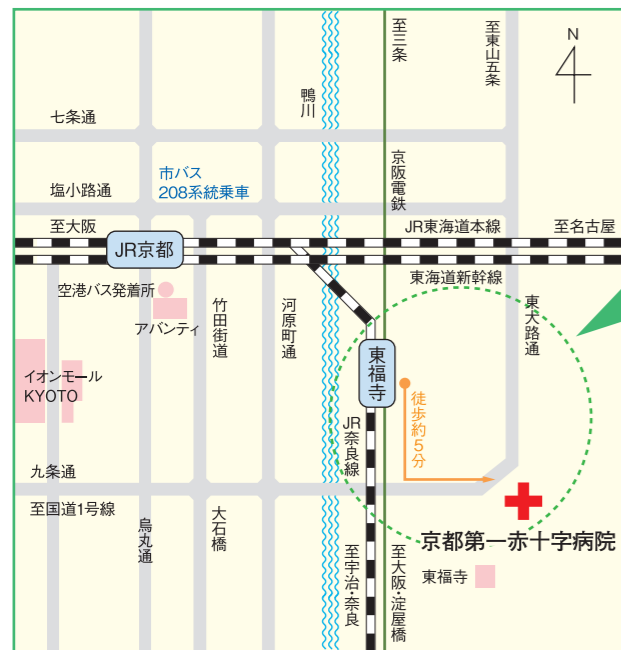
関係医療機関の皆様には、  
平素より大変お世話になって  
おります。

11/15(金)に、地域医療連  
携課が移転いたしましたので、  
お知らせいたします。今後とも  
ご指導ご鞭撻のほど、どうぞ  
よろしくお願いいたします。



## Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

### 当院へのアクセス



#### 電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

#### バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

#### 車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】… 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪  
国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】… 国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)  
へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】… 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点  
を東(左折)へ九条通りを約500メートル

### 京都第一赤十字病院

京都市東山区本町15-749 TEL.075-561-1121

地域医療連携室 【直通】TEL.075-533-1280  
FAX.075-533-1282

# 新年

泉山長老  
俊朝

京都第一赤だより

き す な

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、  
患者さまにとって安心できる  
適切な医療を行ないます。

冬・新春号

2025年1月発行  
vol. 94



新年、明けましておめでとうございます。

昨年は多くの患者様をご紹介いただき、また、  
逆紹介や転院にも多大なご協力を賜り感謝申し  
上げます。京都第一赤十字病院は京都の急性期  
医療を支える中核病院として、一般診療、救急医  
療、周産期医療を通して皆様と共に歩んで行き  
たいと存じます。職員一同、安全・安心な高度医  
療を提供できるように気を引き締めて参ります。

昨年四月の院長就任以降、新患者様の完全  
予約制を廃止し、紹介状をお持ちの患者様の診

察を優先するように改めました。また、病状の安  
定している患者様の逆紹介を推進するとともに、  
診療所からの臨時の受診要請や、救急隊からの  
受け入れ要請は原則的に引き受けするよう  
しております。

皆様方のニーズにお応えできるよう、さらに  
病病連携や病診連携などの地域連携を推進して  
まいりますので、何卒、本年も宜し  
くお願い申し上げます。

病院長 大辻 英吾

# 院内災害救護訓練を実施しました

2024.11.20 Wed

**場所** 京都第一赤十字病院  
**参加者** 各職種職員 計163人

南海トラフ地震により周囲住宅崩壊や交通事故などで、多数の傷病者が来院、救急搬送されてくる想定で訓練を行いました。5年ぶりの大規模訓練であり、参集、受け入れ態勢の構築、患者情報・入院情報の管理を主とした訓練を実施しました。

今年には正月に発生した能登地震を反映して、発災直後に当直者等が本部を立ち上げ、全職員は自動発信される安否確認メールに返信しました。院内各職種合わせて163人の訓練参加者は順次参集し、多数傷病者受入訓練を行いました。

本部指示で、BCPに従い一階外来周辺で多数傷病者を受け入れるべく、玄関前にトリアージエリア、CBRNE除染エリアと緑エリア、建物内の外来に赤エリアと黄エリアを設置しました。これらを束ねる前線指揮所を玄関横に設置しました。約2時間で90人の患者を診察し、一部は階段を使用した入院搬送まで行いました。

当院は基幹災害拠点病院であることから、病床拡張や他機関との連携想定訓練も行いました。終了後は各部門の経験を発表共有しました。BCPの改善継続と共に、災害時に地域を守る備えが一步進んだと思います。

※CBRNE・・・化学・生物など特殊災害

救命救急センター 副センター長 **竹上 徹郎**



参集の様子



緑エリア



黄エリア



CBRNE除染エリア



赤エリア

# 他にも様々な訓練に参加しています

## 京都府総合防災訓練

2024.10.26 Sat 10.27 Sun

**場所** 福知山市 **参加者** 赤十字救護班 1チーム7人  
 DMAT 1チーム5人  
 コントローラー 2人

前日から停滞する前線の影響による大雨の最中、三峠断層を震源とする震度6強の大規模地震が発生し、京都府福知山市に甚大な被害が発生したとの想定のもと、二府七県緊急消防援助隊との合同訓練が行われました。

左から京都府支部事務局長、井岡、平田、東、金光、的場



## 京都市総合防災訓練

2024.11.9 Sat

**場所** 岡崎公園周辺(左京区)  
**参加者** 赤十字救護班 1チーム7人

最大震度7の都市直下型地震の発生により、京都市内広範囲で大規模な被害が発生したとの想定のもと、京都市各局と防災関係機関が連携して訓練が行われました。



## 近畿地方DMATブロック訓練

2024.11.8 Fri 11.9 Sat

**場所** 大阪府内各地  
 (コントローラーは8日から、プレーヤーは9日のみ参加)  
**参加者** DMAT 1チーム3人  
 コントローラー・指定プレイヤー他7人

11月8日14時に上町断層帯を震源とする地震が発生し、大阪府をはじめ近畿管内のDMATや防災関係機関と連携した訓練が行われました。来年度は京都府で開催が予定されています。

## 旅客船事故対応訓練

2024.11.11 Mon

**場所** 舞鶴東港前島ふ頭 **参加者** DMAT 1チーム5人

旅客船事故により多数の負傷者が発生したことを想定し、官民関係機関の役割の再認識と連携体制の強化、事案発生時の適切な対応能力の向上に資することを目的に行われました。



# リウマチ・膠原病疾患関連の 症例検討会を定期開催しています

～関節痛、不明熱、原因不明の皮疹など  
診断未確定症例の持ち込みもお待ちしています～

リウマチ内科 部長  
**和田 誠**  
Wada Makoto



最近の  
トピック

膝を痛めました・・・

前任の福田互先生から京ーランニング部の部長を引き継ぎ、10月26・27日に日赤運動会に帯同して熊本に行ってきました。若者の熱気に触発され、ランニングを再開したところ早速膝を痛めました。現在は関節超音波で自分の膝を診ながら運動再開の時期を検討中です。みなさま、寒い時期の運動はくれぐれもお気をつけください。

## 第1回 (2024,9,20開催)

- ①関節リウマチの症例についての検討
- ②「関節リウマチ診療の総論」

## 第2回 (2024,10,18開催)

- ①関節リウマチに非結核性抗酸菌症を合併した症例の検討
- ②「関節リウマチ診療において気をつけるべき感染症について」

## 第3回 (2024,11,15開催)

- ①ご紹介いただいた抗ARS抗体陽性皮膚筋炎の症例の経過報告、関節リウマチ診療における生物学的製剤の休薬に関する検討
- ②「リウマチ膠原病診療領域で知っておくべきワクチンの種類とその適応」

## 第4回 (2024,12,20開催)

- ①ご紹介いただいた症例の経過報告、最近の興味深い症例の検討
- ②「超音波検査で拡げるリウマチ・膠原病診療」

## 第5回 (2025,1,17開催)

- ①ご紹介いただいた症例の経過報告、最近の興味深い症例の検討
- ②「日常診療におけるリウマチ・膠原病を疑う症状・検査所見とは」

\* 詳細、今後の開催予定については当院地域連携室(075-533-1280)にお問い合わせください。



平素より病診連携、病病連携を含めて各医療機関・介護施設・リハビリ施設の方々には大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

当科では、各医療機関でのリウマチ膠原病疾患、およびその可能性のある状態の患者さんの診療のお役に立てればと考え、2024年9月から

第3金曜日の午後8時から「リウマチ膠原病診療連携の会」を開催しております。

開催様式としては、①当院5階の大ホールでの現地参加(現時点では医師のみ)と、②Zoomによるオンライン視聴のハイブリッド形式(医師以外の医療従事者の参加も可能です)で行っております。

内容としては、①では当日ご提示いただいた症例の検討に加えて、ご紹介いただきました症例の経過報告、最近経験した興味深い症例の紹介などを行っております。②では、リウマチ膠原病診療において有用と思われるトピックについて情報提供をさせていただいております。最近の開催内容や今後の予定は上記のようになっております。

また、リウマチ内科では、リウマチ膠原病疾患だけでなく、これらの疾患を鑑別に挙げるべき関節痛、発熱、倦怠感、しびれ、皮疹、原因の不明な炎症反応高値などのご紹介を広くお受けしております。紹介希望日に枠がなくても直接当院地域連携室にお電話いただけましたら当日でも診療の対応や緊急の転院の対応をさせていただきます。

今後も地域のリウマチ・膠原病診療の充実のために尽力して参りますのでご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## NST講演会 特別講演



# 体組成から考える 周術期栄養評価と栄養介入

～栄養治療でアウトカムを変える～

がん研究会有明病院 胃外科  
松井 亮太 先生

### 【講演主旨】

胃癌術後合併症予測として体組成分析が注目されている。体組成分析では筋肉量と内臓脂肪量を層別した分析が可能であり、筋肉量低下は術後感染性合併症、重症合併症に関わるリスク因子であることが報告されている。また内臓脂肪量高値も腹腔内膿瘍など感染性合併症のリスク因子であることが示されている。2018年の欧州サルコペニア診断基準改訂では、これまで用いられてきた筋肉量低下の診断に加え、筋質評価が

新たに診断項目に追加された。筋肉内脂肪の増加を示す筋質低下は胃癌術後の重症合併症のリスク因子であり、今後注目すべき指標の一つである。2019年に世界で低栄養診断のコンセンサスを得たGLIM基準が発表され、注目を集めている。メタ解析の結果、GLIM基準低栄養は術後合併症のリスク因子であるだけでなく、長期予後を不良にする因子でもあった。

周術期管理として、術前サルコペニアを有

する患者へは栄養と運動を強化した介入が有用である。肥満患者に対しては運動療法を主体とした術前減量を行うと術後合併症が減少する。術前に重度低栄養を有する患者には、10日以上十分な栄養療法を行うことで重症合併症が有意に減少する。以上より、術前体組成と低栄養診断を組み合わせることで術後合併症リスクが高い患者を抽出し、術後合併症減少を目的とした介入期間、介入内容を最適化する必要がある。

## 第11回 NST講演会

日時 2024年10月25日(金) 17:30~18:30

視聴方法 「ZOOM ウェビナー」によるweb配信 個人視聴  
※事前登録が必要となります。下記URL又は2次元バーコードへのアクセスをお願いいたします。詳細は裏面に確認ください。

座長：京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 部長 田中 亨 先生

### 特別講演

『体組成から考える周術期栄養評価と栄養介入  
～栄養治療でアウトカムを変える～』

演者：がん研究会有明病院 胃外科 松井 亮太 先生

※NST・・・Nutrition Support Team

今回も協和キリン株式会社様に共催いただき、現地とWebのハイブリッドで行い、院内から20名、院外から50名の方々にご参加いただきました。ご参加いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

患者さんの予後改善につながるため注目されている栄養治療について、今後も新しい知見を広く発信していきたいと考えています。次回講演会の開催は2025年秋を予定しており、詳細が決まり次第ご案内いたしますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

座長 京都第一赤十字病院  
糖尿病・内分泌内科 部長 田中 亨



## 看護フォーラムを開催しました

患者さんの想いをつなぐための  
私たちの役割とは

看護部 外来係長  
高瀬 あゆみ

11月16日に第11回看護フォーラムを開催しました。テーマは「高齢者のACPを考える～地域で暮らす高齢者の医療を取り巻く話題～」で、院内外から75名の参加がありました。

第1部は、いとう内科クリニック院長 伊藤大輔先生、京都市洛東地域包括支援センターセンター長 河原祥代先生、訪問看護ステーションどんぐり所長 原田友香先生をお招きし、当院慢性疾患看護専門看護師 豊早苗を加えた4名の先生方の講演でした。豊看護師からはACPとは何かをふまえて急性期病院の看護師の役割について、原田先生からは訪問看護の中で意思決定をサポートし

た事例について、河原先生からは高齢者の孤立を予防し地域で暮らすための包括支援センターの関りについての事例、伊藤先生からは「死の質」や入院時にACPについて考える重要性についてお話しいただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、参加者から頂いた質問に回答いただきながら意見交換ができました。

アンケートからは参加者の満足度が高く、ACPへの関心の高さが伺えました。今後も地域の方々と共に患者さんの想いがつながらうに継続して取り組んでいきたいと思ひます。

※ACP・・・Advance Care Planning 「人生会議」

人生の最終段階において、本人が希望する「生を全う」できるよう、年齢を問わず健康な時から、医療・ケアについて考える機会をもち、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合うこと

最近ハマっていること

現在7カ月を迎える子犬の育犬中  
「叱らない、ほめて育てる」の難しさに悩みつつ、存在に癒されています。



院  
内  
救  
急  
救  
命  
士  
で  
す

私  
た  
ち  
は

こ  
ん  
に  
ち  
は  
！



「救急救命士」と聞くと「消防救急隊として救急車に乗る人」と想像するのではないのでしょうか。私たちは、初療の現場で医師・看護師・コメディカルスタッフらと協働し、「働き方改革」などに貢献しながら、地域の皆さんへ安心・安全な医療を提供できるよう活動しています。救急医療体制のさらなる充実と転院搬送業務の確立・運行を目的とし、日々奮闘しております。

救  
命  
士  
の  
と  
あ  
る  
一  
日



### ▶ 夜勤帯から引き継ぎ

先生や看護師さんと一緒に申し送りを受けています！

### ▶ ドクターカーバッグ、外傷セット点検

いつ出動してもいいように、毎朝欠かさずドクターカーバッグ、外傷セットのチェックや点検を行っています！

### ▶ 患者対応

救急搬送やウォークインで来られた患者さんのバイタル測定や検体搬送、患者移送など様々な業務をしています！



### ▶ ドクターカーでの転院搬送対応

ドクターカーの依頼から他医療機関への引き継ぎ、申し送りまで救命士が介入し、患者さんを安全に搬送しています！

